

【資料4】

# 八女市立図書館本館整備基本計画策定 図書館コンセプト案

2023年10月2日

①

前提

コンセプトのはたす役割

②

検討案

コンセプトとそこから広がるイメージ

①

前提

コンセプトのはたす役割

②

検討案

コンセプトとそこから広がるイメージ

以下の項目をもとに、コンセプト案を策定していきます。

関連する主な八女市の計画

2 第5次 八女市総合計画 などの上位計画や分野別計画

本計画の諸要素（一部）

1 現状の八女市立図書館の課題

↑ 関連 ↓

What  
どんな機能か

3 6つの基本方針（「……」を増やそう）

> 上位計画から導く図書館が担う機能  
(※普遍的な内容)

Goal  
結果どうなるか

「くらしを豊かにする図書館」

> 図書館が機能した結果、市民やまちがどうなるか

4

How  
どのように

八女市らしさを表すコンセプトを考案したい  
(サービス企画・意匠など全体に一貫する考え方/方法)

> 「……」を「どのように」増やすかの質的な考え方や方法  
> 広報等でメインで外に出る言葉  
> 八女市らしさをより表現した言葉

## ①現状の八女市立図書館の課題

### 新図書館ではこれらの課題を解決する

---

- (ア) 八女市は市町村合併の背景から分館が多く、そのネットワークを生かすことが求められている。また、歴史的魅力のある地域であり、文化人を多く輩出するなど、その魅力を市内外に発信していくことが課題。
- (イ) 本館は施設が老朽化。改修や建て替えが必要。また、閲覧席の不足やバックヤード作業スペース、バリアフリー対応なども求められる。
- (ウ) 市民のうち5人に4人は図書館を利用していない状況。さらなる利用促進が求められる。
- (エ) 本館の蔵書数が施設の収容能力を超えている状況。一方、人口の規模に対しては蔵書数は不足している。
- (オ) ICタグシステムによる蔵書管理など、IC対応も検討が必要。

## ②総合計画等の概要

### ひとことでは「くらしを豊かにする図書館」

---

第5次八女市総合計画：

「ふるさとの恵みと誇りを未来につなぐ安心と成長のまち八女」

第2次八女市教育大綱：

八女市の教育課題に効果的かつ重点的に取り組むことを目指して教育、  
学術及び文化の振興に関する総合的な施策を策定。

第2次八女市社会教育計画：

「第5次八女市総合計画」の社会教育分野の個別計画として位置づけ、  
「第2次八女市社会教育計画」との整合性をはかり、社会教育の指針に関する  
具体的な施策を示す。

第4次八女市子どもの読書活動推進計画：

地域や家庭、学校、図書館などが主体的に連携することの必要性  
や、どのように読書活動を推進するかをまとめている。

### ③6つの基本方針

①「へえ～、そうなんだ！」を増やそう

②「どうも、ありがとう！」を増やそう

③「なんか、面白そう！」を増やそう

④「いや～、助かった！」を増やそう

⑤「まちの記録」を増やそう

⑥「はあー、ほっとする！」を増やそう

#### ④八女市らしさを表すコンセプトを考察したい

## 1.八女市の地域資本を表す

- ・八女市民が親しみをもてる言葉・イメージかどうか
- ・その言葉を通じて、市民同士で思わず話したくなるかどうか
- ・他自治体から見ても「なるほど！」と思ってもらえるかどうか

## 2.図書館でつくるべき体験機会につながる

- ・その言葉と図書館のイメージに繋がるかどうか
- ・さまざまな企画・サービスにコンセプトを掛け合わせられるか
- ・「まちにできる新しい図書館」というフレッシュさを想起させられるか

①

前提

コンセプトのはたす役割

②

検討案

コンセプトとそこから広がるイメージ



このまちにとってお茶は、  
産業としてだけでなく、  
文化として親しまれてきました。

この風景は、市民にとっては当たり前。  
でもその当たり前も、豊かな環境と  
人々の様々な工夫や努力によって  
成り立っています。

大地と風、照る日差し。  
手をかけて育て、病気から守っていく。  
そして、新緑の季節に伸びる若々しい新芽。

茶摘みの時期はみんな大忙しで、  
まちじゅう駆り出されてお祭り騒ぎ。

そして加工場から香るお茶の香りは、  
今年も一番茶の季節が来たことを感じさせます。

こうした体験は八女市民にとって  
ふるさとの原風景といえることでしょう。



八女に住む人にとって、  
この新しい場は、  
新茶の季節のような  
わくわくとした気持ちをも  
もたらしてくれます。

図書館で出会う新しい学びや好奇心、  
そして人とのつながり。

それらの感情はまるで新芽のようにむくむくと育ち、  
一杯の美味しいお茶になり  
身体にすっとしみこんでいきます。

訪れるたびに心が元気になり、成長する喜びを感じることに。  
そして、その喜びが私たちの暮らしを彩り、  
人生の幅を深めていきます。  
多世代がそれぞれの楽しみを見つけ、  
また行きたいと感じる瞬間が増えていきます。

新しい図書館は、八女市民の暮らしを豊かにし、  
未来への希望がめいめいの心に育っていきます。

それはまるで、新芽のように。



**新芽のように。**

これらの基本方針に合わせて、コンセプトや機能・サービス・空間などを  
”新芽のように”をベースに実現することで、八女らしさを表していく。

①「へえ～、そうなんだ！」を増やそう

②「どうも、ありがとう！」を増やそう

③「なんか、面白そう！」を増やそう

④「いや～、助かった！」を増やそう

⑤「まちの記録」を増やそう

⑥「はあー、ほっとする！」を増やそう

**「新芽のように。」**

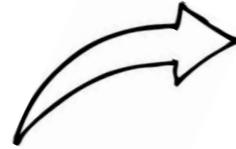
実現する。

# コンセプトが体現する図書館



## 《育てる》

図書館を利用することで好奇心の芽が育つ。市民とともに図書館も育つ。



## 《摘み取る》

新芽を摘むように、その知識や活動を蓄積する。



## 《創る・参加する》

図書館で生まれる交流や助け合いが、好奇心の茶葉を集める。



## 《取り入れる》

お茶にするように、本を含む成果物は、飲むことで学びが身体に沁み渡り、血肉となる。



## 《つなげる》

誰かのために注いであげる。摘んだ芽は次の世代に沁みていく。



## 《芽生える》

知識やそれを得たことで生まれる新しい活動は、市民のくらしを豊かにするとともに、新しい芽を生む。

